

情報受発信機能の強化、ニーズに即した統計の重点化

情報受発信機能を強化するとともに、施策展開のニーズや推進の方向に即したきめ細かな統計情報収集の実施

12,304(10,611)百万円

ポイント

農林水産統計情報については、消費者をはじめとした国民への情報の受発信の強化を図り、結果の迅速かつ利用しやすい形での提供を推進。

農林水産施策展開のニーズや推進の方向に即し、地域の実態を的確かつきめ細かに把握。

1 情報受発信機能の強化

(1) 緊急かつ重要な情報に関するフィードバック機能の強化

適時・的確な情報発信を行うため、緊急を要する政策課題に関する国民のニーズや理解浸透度を迅速に把握するための「緊急・重要情報フィードバック・システム」を整備。

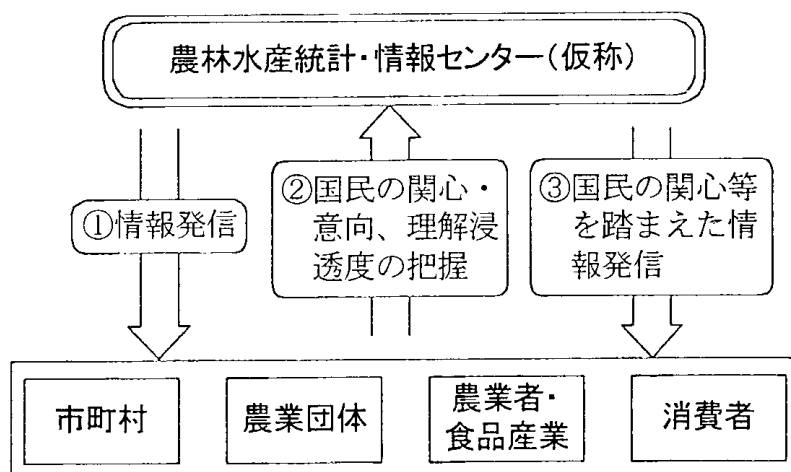
(2) 農林水産情報センター活動の強化

移動巡回情報ブースによる「食」と「農」の情報提供、子供農林水産情報センター見学デーの開催、ホームページにおける都市住民、主婦層等を対象とした「食生活・食品情報コーナー」、「都市・農山漁村の交流情報コーナー」の設置。

(3) 情報の利用しやすい形での提供

蓄積された農林水産統計情報をデータベースにより国民誰もが利用できるよう提供。

緊急・重要情報フィードバック・システム

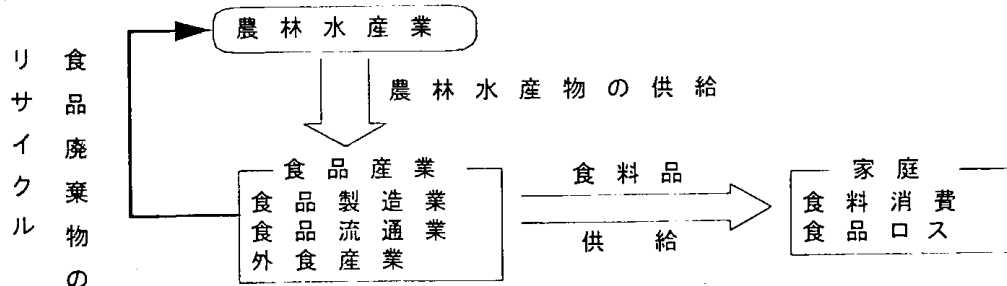


地域イベントでの情報提供

2 新規政策ニーズに即した統計の重点化

(1) 食料消費・食品産業統計の充実

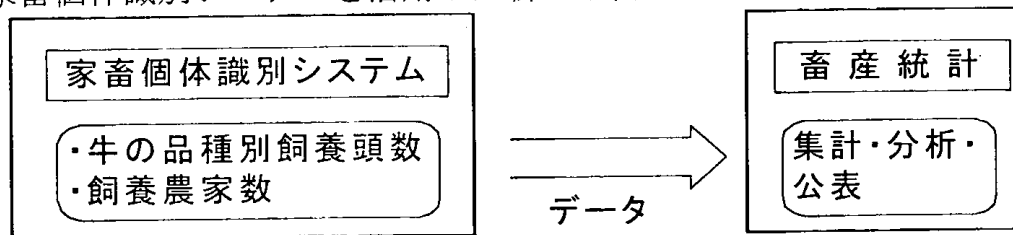
① 家庭における食料消費・食品ロス、食品産業のリサイクルの実態把握



- ② 生産から小売に至る食品全体の量的なフロー、流通コストと流通段階別価格を総合的に把握する調査を実施し、生産から消費までの流通実態を分析。
- ③ 食品産業におけるトレーサビリティシステムの導入状況の実態等を把握。

(2) 多品種少量生産等多様化に対応した生産統計の充実

- ① 地域資源を活用した産地ブランド確立に向けた取組状況を把握。
- ② 有機農業等地域の特色ある農業経営の実態を把握。
- ③ 家畜個体識別システムを活用した新たな畜産統計調査体系の整備。



(3) 農業構造改革に向けた統計の充実

- ① 農業生産の多様な担い手の経営多角化の実態を把握。
- ② 農業における女性の就業実態、労働環境等の就業構造を把握。
- ③ 営農類型別経営統計を開始し地域ごとに農業経営の実態をきめ細かく把握。
- ④ 農業組織経営体について、法人や集落営農といった多様な経営実態を把握。
- ⑤ インターネット等、農林水産分野のIT化の動向を把握。

3 森林・林業政策、水産政策の展開に即した調査の充実

(1) 森林・林業政策の展開に即した調査の充実

林業経営の育成のため経営変化等を長期的に定点で観測分析する調査、林業に新規就業後定着した者の就業実態を明らかにする調査を実施。

(2) 農林漁業センサスの検討・実施

- ① 第11次漁業センサスの実査を実施。
- ② 2005年農林業センサスの実施に向けた検討、準備調査の実施。

[担当窓口課：統計調整課(03-3501-0742(直))]